

大学・高専機能強化支援事業
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2大学】
事業概要

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F124110107141
大学名	三重大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	三重県
申請形態	研究科等の設置・増員 + 学部等の設置・増員 (一般枠)		

1. 事業概要

三重県は、世界最大級の半導体製造工場を有しており（**電子回路製造業の製品出荷額全国1位**）、その製造装置システムの制御には高度な情報技術が必要不可欠である。また、近年著しく発展を遂げている自動運転技術を必要とする自動車産業、クラウド技術を中心として急成長を遂げている情報系企業も集積しており、この地域での高度情報専門人材の育成が急務である。

三重大学では、R5年4月に半導体・デジタル未来創造センターを設置するなど、半導体や情報系の高度人材育成に積極的に取り組んできた。

本事業では、情報工学の学問体系を重視し**基礎から応用までを教授する情報工学専攻と学部同コースを強化、デジタル・半導体分野の両方の知識を有する高度技術者を育成する電子情報工学専攻（仮称）と学部同コース（仮称）を新設し**、これまでの高度情報人材育成の取組みを拡充・進展させる。

企業等と連携した授業科目の開発・実施、PBL教育、短期・長期インターンシップの拡張など、多角的な教育展開で、地域社会の課題を解決するための人材として育成し、地域の経済発展や社会問題の解決に貢献することが期待される。

2.基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前	30	60	90	255
	増員後	30	130	160	550
	増分	0	70	70	295
大学の全組織の収容定員	増員前	291	714	1,005	
	増員後	291	784	1,075	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員前	10.3%	8.4%	9.0%	
	増員後	10.3%	16.6%	14.9%	
	増分	0.0%	8.2%	5.9%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系	工学研究科システム工学専攻	10	30	
		計	10	30	
	情報系以外				
		計	0	0	
修士	情報系	工学研究科情報工学専攻	30	60	R9増員、R11増員
		計	30	60	
	情報系以外				
		計	0	0	
学士	情報系	工学部総合工学科情報工学コース	65	255	R7増員
		計	65	255	
	情報系以外	工学部総合工学科 情報系以外のコース	365	1405	R7減員
		工学部以外	290	1140	R12減員、R14減員
		計	655	2545	

※情報系組織の改組・増員に関わる組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系	工学研究科システム工学専攻	10	30		三重県津市
		計	10	30		
	情報系以外					
		計	0	0		
		改組前との差	0	0		
修士	情報系	工学研究科情報工学専攻	55	110	R9増員、R11増員	三重県津市
		工学研究科電子情報工学専攻デジタル分野（仮称）	10	20	R11設置	三重県津市
		計	65	130		
			改組前との差	35	70	
学士	情報系	工学部総合工学科情報工学コース	100	390	R7増員	三重県津市
		工学部総合工学科電子情報工学コース（仮称）	40	160	R7設置	三重県津市
		計	140	550		
			改組前との差	75	295	
情報系以外	工学部総合工学科 情報系以外のコース	325	1240	R7減員	三重県津市	
	工学部以外	255	1010	R12減員、R14減員	三重県津市	
	計	580	2250			
		改組前との差	-75	-295		

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なもの6つまで）					
博士	工学研究科システム工学専攻	工学関係					
修士	工学研究科情報工学専攻	工学関係					
	工学研究科電子情報工学専攻デジタル分野（仮称）	工学関係					
学士	工学部総合工学科情報工学コース	工学関係					
	工学部総合工学科電子情報工学コース（仮称）	工学関係					

<基本情報>

改組内容：研究科等の設置・増員 + 学部等の設置・増員

情報系組織名： <学士> 工学部総合工学科情報工学コース、電子情報工学コース
 情報系組織の入学定員： <学士> 【R7増員】改組前65名 → 改組後100名
 【R7新設】改組後40名

<修士> 工学研究科情報工学専攻、電子情報工学専攻
 <修士> 【R9増員】改組前30名 → 改組後35名
 【R11増員】改組前35名 → 改組後55名
 【R11新設】改組後10名

所在地：三重県津市

<三重県の社会ニーズ>



- 世界最大級の半導体製造工場
(電子回路製造業の製品出荷額全国1位*)
- 自動運転技術を必要とする自動車産業、
クラウド技術を中心として急成長の情報系企業
も多く集積

地域での高度情報専門人材の育成が急務

<新設や改組の特徴・コンセプト>



○工学部 情報工学コース(増員) 工学研究科 情報工学専攻(増員)

情報工学の学問体系を重視し、
基礎から応用までを教授

工学部 (学士)

情報工学コース
65名 → **100名**
(R7~)
(3年次編入学含)

工学研究科 (修士)

情報工学専攻
30名 → **35名**
(R9~)
55名
(R11~)

○工学部 電子情報工学コース(新設) 工学研究科 電子情報工学専攻(新設)

デジタル・半導体分野両方の
知識を有する高度技術者育成

電子情報工学コース
0名 → **40名**
(R7~)

電子情報工学専攻
デジタル分野
0名 → **10名**
(R11~)

<改組後の教育内容>

実務家教員と若手教員の登用



- 学理探究と実利追及とのバランスの取れたカリキュラムを拡充
- 学生と実務家教員との共同研究開発に関する深い議論の場の提供
- 若手教員による継続的な教育研究の強化

地域とのつながりを活かした教育



- 地域の企業や自治体から提供された課題を取り上げ、学生がPBL教育を通じて解決に向けた取組を実施
- 県内高専専攻科との連携教育プログラム計画

企業との連携をベースとした人材育成



- 共同研究
- 短期・長期インターンシップ
- 企業での実践的な経験を積むことで専門知識だけでなく現場で必要とされるスキルや人間力を身につける

企業等と連携した授業科目の開発・実施、PBL教育、短期・長期インターンシップの拡張など、多角的な教育展開で、地域社会の課題を解決するための人材として育成し、地域の経済発展や社会問題の解決に貢献